

令和4年第9回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--------------|---------|
| 1 | 開会日時 | 令和4年9月22日(木) | 14時00分 |
| 2 | 閉会日時 | 同日 | 15時42分 |
| 3 | 開催場所 | 市役所 5F大会議室 | |
| 4 | 出席者 | 教 育 長 | 民 輪 惠 |
| | | 委 員 | 沼 澤 郁 美 |
| | | 委 員 | 楠 田 初 美 |
| | | 委 員 | 中 川 和 之 |
| | | 委 員 | 深 田 英 世 |

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	千 石 剛
教育総務課長兼給食係長	伊 藤 勝
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	丸 山 常 基
教育委員会課長(未来型児童館担当)	
	井 上 英 文
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	工 藤 憲 人
図書館長	伊 藤 陽 子
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

- 6 付議事項

なし

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

なし

9 議決事項

なし

10 報告事項

教育長

前回8月24日の定例委員会以後について報告する。

8月29日には第8回加西市未来の学校構想検討委員会が開かれた。ほとんどの教育委員の皆様がお忙しい中にもかかわらず傍聴いただいたのでご理解くださっていると思う。2日後の26日には次回の第9回検討委員会が行われる。第9回検討委員会は答申を市長に提出する場となるため、前回の第8回が最後の議論の場となった。結果的には、教育委員会が当初出した素案に沿う形の答申になっているようだが、委員会を通して、17人という多くの委員さんのほとんどが、会議で思いのたけを述べられたと私は思っている。そういったディベートの中から相互理解が生まれ、修正すべきは修正しつつ加西市の未来の学校構想がまとまったということは、教育委員会として誇りに思います。事務局職員については、時間のない中、自分たちの意見も関わらせつつ前向きに答申をまとめる作業をしてくれたことに感謝し、ありがたく思っている。

8月30日は定例校長会が開かれた。そこでの主な連絡事項は、新型コロナ対策、2学期に行われる運動会や修学旅行について、加西学力向上プロジェクトなど多くの連絡確認事項があった。同日午後からは、第2回女性団体連絡会が開かれ、令和4年度の子育て支援事業はsoraかさいで催されるということで、大変活発に意見交換が行われた。楽しみにしている。

9月1日は9月議会初日だった。

9月6日には、うれしの学園生涯大学大学院にて加西市の教育ビジョンと学校再編について、女性教育長として講義してほしいというご依頼を受けた。私たちが今取り組んでいることを他市の方々にも理解していただける良い機会だと思ったので公務としてお話しさせていただいた。今さらと思われるかもしれないが、先方からの希望で「加西市初の女性教育長、民間出身の教育長としての2年間」という題でお話をさせていただいたのだが、私が就任して、加西市教育委員会が直面していた喫緊の課題は、やはり少子化と学校の再編であった。私はそうした加西市の未来の姿にかかわる問題を、数の論理で議論してはいけない。そうする前に、加西市の教育ビジョンを検討した上で提示すべきだと強く思った。そうした考えに基づきいろいろなことをしてきたこととお話した。また、未来の学校構想検討委員会の答申やSTEAM教育について一

応パワーポイントを用意し、駆け足ながら丁寧にお話をさせていただいた。

嬉野で行われたので加西の方はその中で3人ぐらいだったかと思うが、当然ほかにも三木、小野、西脇などいろいろなところから来ておられた。うれしかったのは「加西市の教育に希望が見えました」とおっしゃっていただいたことだ。いろいろな用意をして講義させていただいた甲斐があったと思ったので、ご報告させていただく。

9月8日には市町村教育委員会研究協議会がリモートで行われた。

9月9日は本会議2日目であった。9月議会では小中学校の再編について、また市内16校と公民館などに導入するSTEAMラボについて、ゼロ2歳児の保育料無償化、食育及び給食について、もちろんコロナ感染対策についても取り上げられた。教育委員会それぞれの課が短い時間で大変な思いをしながら答案作成をしてくれた。部長は各議員さんからの答弁に出づっぱりであった。これはある意味で教育委員会が前向きに動いているあかしでもあろうと私は思っている。委員会と事務局が一体となって頑張りたいと思う。

9月12日も続いて本会議が行われた。

9月14日には総務委員会があり、朝から夕方7時前に終わるまでなかなか大変であった。だから、議員さんはもちろん、市長と副市長はずっと出席されており、大変なことだと思った。それだけ活発にいろいろな議論がされたということである。

9月15日には社会教育委員会が開かれた。これは以前の定例委員会でも報告した第1回公民館・オークタウン在り方検討委員会の開催を受け、臨時に開かれたものである。委員には長年加西市の社会教育に関わってくださった方もたくさんおられ、今までの成り行きなども十分にご存じで、公民館の問題のありようなどもよく分かっておられる。様々な提案が出され大変良い会議になったと思う。公開されるので、ぜひご覧いただきたい。直接の担当部署は生涯学習課であるが、これを受け教育委員会として頑張りたいと思っているところである。同日午後には代表区長会に出席させていただいた。

9月17日には、市内中学校の体育祭が開催された。教育委員の皆さんもそれぞれ分担して見ていただいたと思うが、少し曇り空で風もあり、涼しい運動会となったが、子どもたちはみんな元気いっぱいであった。今年は、私が行った泉中など、各町のテントが張られて保護者の観覧席が用意されている学校もあった。体育祭にもにぎわいが戻ってきてよかったなと思って見させていただいた。さすががしく頑張る若い人たちの姿に、私自身が力を頂いてきた。

教育部長

教育長も報告の中で触れられたが、9月議会について報告をする。

まず、議案関係について。教育委員会からは、STEAMラボ機器購入の契約議案とスマート図書館ネットワークを構築するための機器購入の契約議案、この2件の議案上程

をしている。共に契約議案となっているが、一定の額に伴い議決を要する契約に位置するものであったため上程をしたものである。

また、今回の9月議会では補正予算も計上している。主立った補正内容は以下のとおり。

一つに、私立こども園への給付事業 764 万円というものがある。これは当面のところ1月実施を予定しているが、こども園における主食の無償提供を実施するためである。ご存じのとおり 10 月から保育料の無償化が開始されるが、もともとこども園においてご飯は自宅から持ち込んで、副食のみを園が提供していた。しかし、主食についても合わせて無償提供を実施できる体制を整えるため、私立園を補助するという内容である。それと、公立認定こども園の運営事業 1,095 万 9,000 円の補正計上をしている。これについては公立こども園にて主食を提供することに伴うもろもろの予算である。公立園はご飯を炊く設備を有していないため、これには加西産米の購入と業者が米飯加工して各園に運搬する費用が含まれている。

また、学童保育運営事業 3,450 万円の補正もお願いしている。これについては今年度、泉学童保育園が新築建設予定であり、その工事費の増額補正をお願いしたものである。内訳は既存園舎の解体費と新築に伴う建設費である。さらに、文化財整理室管理費として 178 万 5,000 円を補正計上した。これは旧図書館、現埋蔵文化財整理室の修繕費として計上したものである。

今後の予定としては、明日9月23日に予算決算委員会全体会が行われ、9月28日本会議最終日が予定されている。総務委員会では既に2件の議案で可決いただいております、9月28日の議会最終日に本会議採決が行われるという状況である。また、補正予算については9月26日の予算委員会全体会で委員会採決が行われ、9月28日最終日の本会議にて採決が行われる運びである。認められれば予算執行に移っていく。

ちなみに、議案に対しては5名の議員から質問を承った。加えて、一般質問では議員がいろいろな市政について質疑を行うのだが、そこでは計7名の議員から一般質問を受けている。主立った内容は以下のとおり。一つは戦争遺跡群の保存活用という意図の問いがあり、これは皆さんも鶴野のL字型巨大防空壕の記事をご覧になられたと思うが、そうした背景で一般質問がされたと思われる。また、教育委員会関係の質問内容として、安倍元首相の国葬に関する質問もされた。さらに、教育関係で保護者や地域のニーズを教育に反映させるといった趣旨の問い、STEAM教育推進に当たり先生方の人材育成という意図の問い、不登校や部活動の地域移行などに関する問いがなされ、本会議において議論を行ったところである。

教育総務課長兼給食係長

まず、学校給食についてのアンケート調査について報告する。

今年5月の定例教育委員会のときに、給食の味つけや満足度についての話題があり、

一度アンケートを取り児童生徒の意見を聞こうということで始めたものである。夏休み前の7月に実施した。調査人数は小学生 1,859 名、中学生 880 名、計 2,739 名全員からアンケートを取ることができた。アンケート結果は、今後ホームページに掲載させていただく。内容の説明は省くが、「給食はおいしいですか」という問いに対して、「とてもおいしい」あるいは「おいしい」という答えが全体の8割を超えていたということは、とてもうれしいと考えている。また、味つけについても全体の88%が「ちょうどいい」と答えており、その点でも少し安心している。ほかに給食の量や好きな物、苦手な物や加西市産食材についていろいろなご意見を頂いた。

次に、STEAM ラボ整備について報告する。

先ほども何度か報告で触れられていた STEAM ラボは、市内 16 の小中特別支援学校、3 公民館と総合教育センターをオンラインで結び、遠隔授業を可能とする専用の教室のことである。今年度、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、STEAM ラボ整備のための必要な機器を購入している。整備箇所は前述の 20 か所。小中特別支援学校については、現 PC 教室を活用し STEAM ラボに整備していきたいと考えている。公民館は貸し館であるため常時設置することはできないが、必要なときにラボにしながら利用できるよう活用を考えている。

イメージ図にもあるように、小学校については今、机上に PC が並べられているが、リースも切れているため、撤去した上で、机と椅子ではなくスツールを置き、新しくカーペットも張りかえ、広い空間を活用できるようにする。スツールは腰かけにも机にもすることができる。例えば子どもたちが Chromebook を持ってこの部屋にやってきて、グループで自由に学習することができるようになる。小中学校には 360 度カメラを設置し、カメラとディスプレイに通信機能を持たせて他校あるいは公民館とつないで遠隔授業ができるようにしている。また、小学校には 3D プリンターを配備する。中学校は今後の再編もこともあるため、既存の PC の撤去後、床はそのままだが、1人1人の机と椅子を置き、班ごとに自由に机を並べてグループワークができるようにする。

小学校も中学校も同じように、ディスプレイの画面を見ながら、他校とつないで一緒にゲストティーチャーの授業を受けたりできるようにしている。今まではパソコンを持ってきて通信機器をつなぐなど準備が大変だったが、STEAM ラボは専用の教室なので、ボタン操作一つで、その学校と映像がつながるといように手軽に利用ができると考えている。高性能な機械なので、これをどう活用できるかということについては、今年度1月以降にいろいろなプログラムを提案しつつ、今年度下半期や来年度に向けて活用法を広めていきたい。

最後に、加西市未来の学校構想ワークショップについて報告する。

9月26日の答申提出後の予定については、10月から計3回ワークショップを開催する予定になっている。窓口は人口増政策課であるが、検討委員会後、一般市民の方々により幅広く今回の答申を説明させていただき、その答申に対してのご意見を頂きた

いと考えており、現在参加者を募集している。

教育委員からの意見や質問と教育総務課長兼給食係長の回答

- ・給食についてのアンケートを取っていただき感謝している。いろいろとお手を取らせてしまい申し訳ない。感謝を伝えたい。これを見て「おいしい」と言う子がたくさんいて安心した。ただ、少数ではあっても「食べられない」や「おいしくない」と言う子どもがいることも事実なので、その子たちを放っておくのではなく、食べられない理由や食べてもらえる工夫をこれからも考えていただいて、少しでも残食の量が減ってほしいと思う。子どもたちは素直なので本当は給食がすごく楽しみだと思う。何しに学校に行くのかと聞かれて「給食を食べに行く」と言う子もいる。だから、「小学校のときの給食は楽しかったな」という思いがあれば、その子の人生は楽しいと思う。それを考えて取り組んでいていただきたいと思う。

それから、少し気になったのは、食べられない理由に「おなかが痛いときがある」、「ご飯を食べると吐きそうになる」、「体調の悪いときがある」、「口内炎があるから」という回答が出ていることである。小中学生でこういう意見が出るのはどうなのかと気になる。その回答の子どもの特定はできないのだろうか。そこは気にしていただいて、もしどの子なのか分かるようなら保健の先生などから少し話を聞いていただきたいと思う。よろしく願いしたい。

(回答) アンケートから回答者の特定はできない。給食についてはこのアンケート結果に満足することなく、子どもたちがさらにもっと楽しく給食が食べられるように、これからもメニューなどいろいろと工夫して取り組みたいと思っている。また、食べられない子のサポートについても、学校と連携を図りながら進めていきたいと思う。ご意見に感謝する。

(教育長の回答) マイナーな意見ほど大事であったりするので、安心せずこれからもきちんとやりたいと思っている。

- ・給食のアンケートの結果表を見ていて、「性別不明」というのが気になった。多分男女のところに丸をつけていないのだろうが、私個人的には「未記入」ぐらいのほうがいいかと思った。それから、今回は給食の全般的なことだったが特にアレルギー関係がやはり気がかりなので、また改めてその辺りは十分注意していただきたい。当然保護者がチェックしたり、中学生なら本人もチェックしたりできるが、より詳細な成分表を取り寄せるなど事故が起こらないようお願いしたいと思う。

それから、STEAM ラボについては確認だけなのだが、中央公民館は市民会館との関係で設備を入れないということなのか。

(回答) 指定管理の施設ということであり、今年度は中央公民館への導入を見送らせ

ていただいた。また公民館を充実していく中で、その辺りは今後考えていきたいと思う。

- ・アンケートを細かく取っていただきありがたく思っている。8割以上の子どもが「おいしい」と言っているということで安堵した。ただ、食べ残しの理由では、「苦手なものがあるから」や「量が多い」というのはもちろんあるが、3番目の理由に「食べる時間が短い」とある。中学3年生ぐらいならいいが、どうしても給食を取りに行くと配膳したり後片づけをしたりすると、小学校の低学年などはそちらに時間がかかってしまって、食べる時間が若干短くなっているのではないかと想定させていただいた。こうしたところもまた工夫していただいて、食べる時間が取れるように改善して行ってほしい。

それと、最後のほうの「給食に加西市で取れた食べ物が使われていることを知っていますか」という質問には、50%ぐらいの子が「知っている」と答えている。一応、給食の一口メモや給食時の放送などいろいろと工夫して伝えていただいていると思うが、給食の時間帯はわいわいといろいろな音がするので、なかなか聞き取れていないのかもしれない。せっかく加西産の食材はこうだと知ってもらえる給食なので、ここの数字がもう少し上がるようにまたお力のほうをよろしくお願ひしたい。統計を取っていただいたことに感謝している。

- ・いろいろとアンケートを取っていただき感謝している。先ほど3人の教育委員も言われたとおり80%が「おいしい」と書いているので少し安堵した。逆に、「残さず食べていますか」に対してまだ20%から25%が残すことがあるということで、SDGsを掲げてやっているのだからやはり食べ残しはできるだけゼロに近づけるように、その他のアイデアを出すなど考えていかなければいけないかなと、まず1点思った。それと、私が少しびっくりしたのは、苦手な給食の断トツは魚だったことだ。私は魚がとて好きなのだが、何で魚はこんなに子どもに人気がないのか。
(教育長の回答) 全国的に子どもたちは魚嫌いという数字が出ている。水産庁辺りもいわゆるさかなクンなどを使って魚を食べようキャンペーンを一生懸命しているが、基本的に魚を食べる量はどんどん減っている。これは全国的なものである。
- ・もう1点は他の委員の意見と同じだが、加西産の食材が使われているのを知っていると答えたのが50%ぐらいだけだったのが意外であり、もっとみんな知っているかと思っていた。もう少しそれに対して宣伝か何かをしたほうがいいのではないかなと思う。

私も加西の地産地消を盛り上げるためにどんなことができるかをインターネットで調べてみたところ、広島で100万食レシピをつくるという取組をしていた。それ

は地域、保護者、生徒から給食のメニューを考えてもらって、募集した給食のメニューを教育委員会が審査をする。その中の投票でベスト5位ぐらいまでに入ったものは実際に給食のメニューに使うということで、地産地消の食材を使った給食メニューを実際に盛り込もうというような取組をされている。これもなかなか面白いアイデアだなと思った。これをまねても何か少し違ったことでもいいので、こういうようなことをやっていけば、もっと加西産の食材を使ってやっているということで盛り上がるのではないかと思う。

また、以前にも私は全国学校給食甲子園に応募してみたらどうかと提案したことがある。もう少し調べてみると2019年に丹波篠山市西部給食センターがトップを取られたことがインターネットで取り上げられていた。それで、もし例えば給食の残食のことや魚嫌いのことなど、改善したいところを実際にトップに立っているところに聞いてみるのも一つの手ではないかと思う。そういうことを考えながら給食をもっと盛り上げていければと思う。せっかく給食が無償化されたところであるし、これだけ児童生徒が「おいしい」と言ってくれているのだから、何もしないよりは少しずつでもいいのでやってみたらどうかと、アンケートを見て思ったところである。これからも盛り上がるようにこちらもいろいろと考えていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

- ・8月に教育委員の研修会が稲美で開かれた。その中で稲美町の教育長も、稲美町は給食が売りだという話をされ、おいしい献立などこういう取組をしているというチラシを作っておられた。やはり少し費用はかかるかもしれないが、そういう何か地産地消のことも含めたPR誌のようなものを作ってもいいかもしれない。何か参考になればと思う。

(回答) 皆さんからたくさんのご意見やご提案を頂いたので、やはりアンケートの中に改善のヒントがたくさんあるのではないかと思う。結果を丁寧に見ていきながらやっていきたい。実際に子どもたちからの給食のアイデアやメニューについては今作っている。ただ、地産地消については、もう少しその辺の視点も取り入れつつ考えたい。

今、給食のインスタグラムをつくった。出来上がった給食の写真だけではなく、調理員が作っている現場の写真を栄養教諭が撮影し、こういうふうに給食ができているのだということも子どもたちに見てもらえればありがたいと思っている。まだまだフォロワー数が少ないのでこれからPRしていかないといけない。チラシも含めPRを充実させていきたい。

- ・給食は子どもたちも楽しみなので、お昼の放送で今日の献立はこんなのだとか、こんな特徴があるということを紹介してくれている。そうした活動もきちんとされて

いるので、やはりそれにプラスでPRしていくことはお願いしたい。

(教育長の回答) 委員さんも言われたように、各学校では結構PRをしている。せっかく無償化になったので、市の給食というところで何かキャンペーンをするなり、何かプライズをつけてやるなり、そういうことを考えてもいいのではないかと、教育委員さんたちのご意見を伺いながら思った。

- ・やはり調理員さんがいらっしゃらなかったらここまで給食はできないので、一生懸命給食を作っていただいている調理員さんに、きちんと手厚く感謝するようなことを何かしてあげられたらと思う。よろしくをお願いしたい。
- ・つけ足しで申し訳ないが、毎月、給食の献立表の裏面だと思うが「ランチタイム加西」というのを出されている。そこには本当にいいことが書いてあり、月ごとに合ったテーマで皆さんが分かりやすいよう上手に作られている。ここ2年ほどを遡って見たところ、例えば4月号には加西産食材のことなど、こういうことをしているとか、この月はこうだからときちんと書いてあってとてもいいなと思った。これも上手にPRしていただけたらいいと思う。

学校教育課長

小中特別支援学校における教育活動ということで定例の報告となるが、まず新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について報告する。

ご存じのとおり夏休みは第7波で大変多くの児童あるいは教職員の感染状況があった。こども未来課では園や学童を開いていたが、幸いにして学校では部活動以外は閉じた状態だったので、感染が本当にそんなにあるとは想定していなかったのだが、350名弱の子どもたちが感染する状況だった。

9月に入っても今日時点で90名弱の子どもの感染が認められているが、先週から若干感染者の数は減ってきている。一方、学級閉鎖は9月に入ってから4校4クラスで実施をした。先日も運動会を前にして念のためというところで、小学校で三連休明けに学級閉鎖をした。学校では休日明けや土日も含めて子どもたちの様子を確認し、教育委員会と連携して学級閉鎖の基準等を順守しつつ、校医とも協議しながら措置を打っているところである。まだまだ感染拡大に配慮が必要な状況が続いており、児童生徒や教職員が安全安心に学校教育活動ができるようこちらからも指示をするとともに、予算措置も当然だが、きめ細かな手だてを講じてやっているところである。

そうした中で2学期が始まり、保護者や地域の皆さんに来ていただくような教育活動もどんどん進めている。教育長の報告のとおり、まず9月17日に中学校の体育祭、体育大会が開かれ、教育委員さんも激励していただき本当に感謝をお伝えしたい。来週9月29日には小学校の運動会を予定しており、あいにく午前中は雨ということで懸

念されるところだが、今のところ学校は実施する方向で準備をしている。

雨天等での中止や順延の連絡等については、毎年かねてから教育委員さんにはいろいろな学校で見させていただきたいとお願いしているのだが、朝の状況がばたばたすることなどもあり、これまでもお願いしてきたとおりに訪問予定の学校に中止の有無をお問い合わせいただくほうが、迅速かつ確実に連絡が届くのではないかと考えており、できればご一報入れていただけたらと思っている。例年どおり学校には7時から7時半頃にお問合せいただく旨伝えているので、よろしくお願ひしたい。また、私のほうも各学校の連絡を集約するので、何かあればお問い合わせいただいても結構なのでよろしくお願ひしたい。

続いて、その他の学校行事について報告する。加西特別支援学校中高等部の生徒が、9月7日から9日にかけて本当に久しぶりに東京方面に修学旅行に行ってきた。保護者や生徒たちの不安を少しでも軽減するため、事前に旅行社も同席した保護者説明会を丁寧に開催し、教育委員会ともできるだけほかとの接触をしないような方法を相談しながらこういう対応でいこうということで、保護者の理解を得て全員参加で行けたことに大変喜んでいる。そのほか今後は、小学校の修学旅行、泉中学校区小学校の自然学校、中学のトライやる・ウィークと校内合唱祭など様々な行事がある。4月にもお伝えしたとおりにオープンスクールの計画を実施する予定でいるため、ぜひ教育委員の皆様にもご都合の許す限り、子どもたちや教職員の様子を見ていただければありがたいと思う。

最後に、教職員のワクチン接種についてご報告する。先月には加西特別支援学校教職員の優先接種について報告させていただいたが、市の配慮により引き続き学校園教職員、給食センター職員、学校へ訪問することの多い市職員への優先接種を9月末から10月初旬にかけて予定している。あくまでも対象は希望者のみだが、これにより少しでも感染の予防、重症化の回避につながればと考えている。昨日21日時点で200人を超える教職員が接種を希望していると担当部署から聞いている。

こども未来課長

まず、こども未来課でも8月より各園の給食のインスタグラムを始めているので、ご覧いただきたい。

加西市保育料減免に関する事務処理要綱について報告する。これは9月30日施行に向けて現在調整中で、11月の定例委員会で調整したものをご報告させていただきたい。条例規則は変えずに実施要綱ということで進めている。というのは、条例を変えると国県の補助金がもらえなくなってしまうので、補助が頂けるように事務処理要綱ということで整理をしており、来月お示ししたいと思う。このように11月から保育料無償化に向けて手続を進めているところである。

次に、令和5年度認定こども園等入所申込みについて報告させていただく。入所申

込みは例年どおり一斉申込みとし、10月13日から28日を申込期間とする。本年度の変更点としては、北条東すみれこども園が開園したこと、それから4月にサンライズキッズ保育園、加西園を開園したことである。さらに、保育料無償化に向けた対応については、サンライズキッズと同様の0から2歳児の小規模こども園として、来年、北条地区に1園、九会地区に1園、合計約40名の定員枠で開園する予定で進めているところである。それから、入所申込関連書類を事前配布するため個別相談会を開催した。参加者については昨年20名ほどだったが、今回、相談者61名、資料のみを持ち帰られた方が26名おり、87名の保護者がこども未来課に来られたということで、かなりの反響があったと思っている。

報告は以上であるが、コロナに関するこども園の対応についても報告する。先ほどの学校教育課長の報告のとおり、8月はたくさんのクラス閉鎖、感染者があり、特に職員の感染者が多かった。ただ、短絡的に職員が足りないのでクラス閉鎖することはできないということで、原則開園で進めており、各園には非常にご尽力いただいたところではあるが、教員が不足したことによるクラス閉鎖はなかった。やはり現在も教員の感染、濃厚接触者は増えているが、何とか第7波を耐えてもらい保護者の就労に影響のないように運営していきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

教育委員からの意見や質問とこども未来課長の回答

- ・10月1日から0から2歳児保育料無償化が始まるということで、何点か少し確認させていただきたい。まず1点目は待機児童について、10月1日から実際に希望されている方が本当に入園できるのか。また、来年度の令和5年度に応募された方が実際に全員入園できるのかというのが2点目である。3点目は、これだけ無償化になると入園される方が多分増えてくるので、それを見越してやはり一番大事なのは保育士さんだと思う。少し不足しているというようなことも聞いているので、こども未来課のほうで何か保育士を確保できる策など考えていらっしゃるのか。これら3点が気になっているので、現状どうなっているか確認したい。

(回答) 待機児童は10月1日から生じないように調整しており、残り3名を最終調整する予定で、確実に入園につなげたい。市内には13園があり、結局入園枠とのミスマッチということで希望がかなわないことは起こるかもしれないが、待機児童はないと考えている。また、来年度の入園については努力をしていかなければならないところで、定員枠を広げるため公立園での施設の改修を進めている。ただ、教育委員さんも言われたとおり最も悩むのは保育士確保なので、今後、保育士の確保対策としては、民間園の能力を高めさせていただくよう努力していただいております。ほぼ入れている状況である。保育士の確保には保育士への支援策を打っていく必要があり、加古川、明石、神戸に倣ったような支援策をしていかないと駄目かとは考えている。

- ・それなら、加西は明石やほかのところ以上に何かをやらないと。做っただけではなく、それ以上にしないと保育士の確保は難しいのではないかと思う。ぜひこの3点は確実に考えてやってもらいたい。

(回答) ご意見に感謝する。それについては考えているところだ。課題は共通だと思っている。

- ・10月1日から始まる0歳から2歳児保育料無償化に伴い、今実際に大体何人ぐらいが応募されているのか。

(回答) 新規26名です。

- ・来年度になればもっと希望者は増える可能性があると思うが。

(回答) 来年は初年度になるので、各園の能力としてはあるが、保護者の希望の園に必ず行けるかどうかというところだ。待機児童は生じないが、市としては何人の定員枠があるかと考えるので、保護者の希望の園に必ず合うかというところがあり、難しい。今の傾向としては北条もしくは加西地区、九会地区に集中しており、そのため小規模園を2園つくったが、まだ不足しているので来年4月に向けてどうしても開園させなければならない。さらに不足するのなら、まずは民間園の能力の拡充を進めて、民間園に受けていただく方向で進め、民間園の保育士確保対策をしていかなければいけない。民間園と公立園が競合するわけにはいかないので、それでもまだ不足するようであれば、公立園の枠を広げていくための改修をしなければいけない状況かとは思っている。

- ・入れたとしても、例えば九会小学校区なのに賀茂地区の園にしか入れないとしたら、小学校に上がったときにバラバラになってギャップが出てしまうのではないか。

(回答) 今の状況では、0から2歳までは希望の園に入れないということは起こるかもしれないが、多分自我の芽生える3歳以上になれば希望の園に移れると思う。というのは、保育士の配置基準が0から2歳までは3対1や6対1であり、3歳は20対1、4、5歳は30対1だからだ。

- ・今のご意見につけ足してみたいになるが、私がお隣の市の方に教育の無償化のことを話すと、みんな「わ、加西市っていいですね。加西に住みたいわ」と言われる。それで、ある程度そういうことをPRしていくことも大切だと思うので、一つ広報していただきたいと思います。保育士さんの確保や施設の定員なども関係するのだが、これによって人口増大につながるかもしれないので、PRのほうもよろしくお願ひしたい。

(回答) ご意見に感謝する。教育委員会個々ではなく、全体として10月から人口増政

策課とPRを打つということで共有している。加西市を子育てしやすいまちとしてPRするため、映像やパンフレットを含めて出していく予定であると聞いている。

- ・10月には総合教育会議も予定されている。繰り返しになるが、やはり教育委員会だけではなく首長部局との連携が必要である。人口増に当たっては、やはり住みよいまちをつくらないといけない。いかに教育が充実しても、ほかはということになれば、思っていたのと違うというような市民生活になってしまうからだ。それで、総合教育会議では、首長部局と十分に連携を取ってやっていけるよう、市長にお願いしたいと思っている。

教育委員会課長（未来型児童館担当）

加西市未来型児童館整備基本構想策定業務の進捗状況について報告する。

加西市未来型児童館は、子育て環境の充実に向け、子どもたちや子育て世帯のニーズに合わせ必要な支援を選択し、利用できる子ども子育ての総合的な拠点施設として整備を考えている。現在、プロポーザルにて決定したパシフィックコンサルタンツと業務委託契約を結び、作業を進めているところである。業務スケジュールは配布資料のとおり。現在、現状と課題の整理ということで、これまで市が実施した子ども子育て支援事業計画策定時に行った未就学児や小学生保護者対象のアンケート、また総合計画策定時に中学、高校生を対象に行ったアンケートを整理し、未来型児童館に求められる役割や機能の整理を行っている。加えて、現在全国各地で整備されているいろいろな類似施設の資料収集や、どのような機能を有しているのか、整備に向けてどのような制度を活用してきたのかなどの情報収集作業も行っている。

11月から12月にかけてワークショップ形式の会議を開催し、主な利用者として想定される子育て世帯がどのような機能設備を必要としているか、市民の意向を把握したいと考えている。その他、庁内検討委員会や子ども・子育て会議などに諮りながら、施設整備の基本的な考え方を整理し、最終的には来年3月に、未来型児童館の建設予定地及び子育て環境として必要な機能を取りまとめる予定にしている。

生涯学習課長兼市史文化財係長

生涯学習課からは2点ご報告させていただく。まず、令和4年度公民館まつりについて報告する。

皆様もご存じのように毎年10月、11月にかけて各公民館にて、主催講座と登録グループの講座生による学習発表会を「公民館まつり」として開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となり、形を少し変え作品展示を中心とした開催にした昨年度を経て、今年は3年ぶりに従来の公民館まつりを開催する。内容等は10月号広報、ホームページ、チラシなどで周知させていただく。

日程は開催の早い順で紹介すると、次のとおり。まず、10月22日、23日の土、日曜に南部公民館で公民館まつりを開催する。善防公民館は少し間を空けた開催になるが、10月29日土曜に講演会ということで公民館まつりの第1部を行い、11月13日日曜に講座生の発表等を中心とした公民館まつり第2部を開催する予定。そして、11月5日土曜には、北部公民館で公民館祭りを開催する予定。最後に、11月26日、27日の土、日曜には、中央公民館で公民館まつりが開かれる。教育委員の皆様におかれてはお忙しい中ではあるが、ぜひ足を運んでいただいて、講座生や登録グループ生の発表等をご覧くださいますようお願いする。

続いて、加西市制施行55周年記念写真展の開催についてご報告する。

本年、加西市は市制55周年を迎える。それに関連した記念事業が市として行われるが、生涯学習課では、加西市制55年の写真展「始まりの加西、写真で見る55の歩み」を10月15日から11月16日の期間、加西市市民会館1階のまちライブラリーにて開催する。55周年の祝賀企画として、加西市や市民が歩んできた55の日々を振り返ることのできる記録画像を展示紹介し、加西市発足当時の活気をいろいろな世代の皆様に見て追体験いただける内容として企画した。ぜひ足をお運びになり、ご覧いただきたいと思う。よろしく願いしたい。

総合教育センター所長

まず、令和4年度研修講座の中間まとめについて報告する。令和4年度は31コース46講座を計画し、受講対象者を小中特別支援学校及び公私立こども園教諭としている。9月2日現在27講座を終了し、受講生は合計912名である。受講者による講座の評価については、今年度、項目の見直しを行ったため下がることを我々としては予想していたが、現時点で5点満点中の平均4.61点と、予想に反して、これまでで一番高い評価となった昨年度を上回る評価を得ている。

成果は以下のとおり。リクエストや実績のある講師、校内研修や教科担当者会と連携した研修、喫緊の課題に対応した研修内容など、学校現場のニーズに応える研修が実施できたことである。それから、ICT教育やSTEAM教育などでは、昨年度より一歩進んだ次の段階の研修を開催し、新しい形の研修を提案できた。これらには受講申込みも多くあり、教職員の意識も高まっていると感じている。また、講師、年齢の違う教職員あるいは同年代の教職員が集まり意見交換することで、様々な考え方に触れたり、教職員が交流したりする機会とできた。さらに、受講受付をネット受付に、受講後アンケートをネット回答にすることで、分かりやすく効率的な事務を進め学校現場とセンターの負担軽減につなげることができた。

課題は以下のとおり。依然として終息しないコロナ感染状況の中、様々な形態の研修対策を講じながら実施していくこと。それから、研修資料の提示や研修記録、研修形態を含め、より持続可能で効果的なICT活用のさらなる促進を考えている。さらに、

毎回のことになるが、現場の声を大切にして現場で求められている講師、研修内容、研修形態、研修時期や日程等に応じていくことが、課題だと思っている。新しい教育を進めていくためには、膨大な教職員の研修、準備、会議等が今必要となっている。日々多忙な教職員は、さらに上乘せする物理的な時間や労力などほとんどなく、働き方改革が求められる今日に反して教員の感じる多忙感が増すばかりである。また、市内 16 校の行事と 40 講座以上の研修日程の調整、それから研修出張で職員が抜ける小規模校の学校運営など、課題は多くある。今後もそれらに対して効率的かつ効果的な研修を進めていきたい。

併せて、二つお知らせさせていただく。一つは、令和 4 年度「いじめ防止運動」作品展実施について。市内各中学校から応募されたポスター、標語の受賞作品をアスティアかさいや各学校に順次展示することで、児童生徒や市民がいじめに対して正しく認識し、いじめを防止しようという意識の高揚を図る。アスティアかさい 3 階地域交流センター、ウォールギャラリーにて本日 9 月 22 日から 10 月 4 日まで展示をする。お時間が合えばご覧いただきたい。

二つ目は、学校運営協議会設置に向けた研修会について報告する。机上に文化省 CS マイスターによる二つの研修要綱を配付している。10 月 31 日には、加西市教育委員会が主催の学校教職員を対象としたオンライン研修が行われる。続いて、11 月 1 日に加東市教育委員会による北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの連携事業として、研修が行われる。もし受講希望があれば総合教育センターへご報告いただきたい。

教育委員からの意見や質問と教育センター所長の回答

- ・学校運営協議会設置に向けた研修会について、対象者は学校管理職とミドルリーダー的な教師と書いてあるが、これは先生主体の勉強会なのか。例えばコミュニティ・スクールは校長先生が主体となり、そこから地域の方や保護者などが絡んだ団体でどう学校を運営していくかということになるが、この研修会はあくまでも学校がどうやっていくかということで、先生方対象の研修会になっているのか。

(回答) 第 2 回を 2 月に開き、そのときに地域や PTA を中心とした研修会にする予定である。今回は、まず教職員に十分理解していただきたいということで、校長、教頭もしくはそれに準じたリーダーに理解いただけるような研修会を予定している。

- ・研修講座の中間まとめを聞かせていただいて、講座の見直しをして評価が下がるだろうと予想していたのに高評価ということは、センターの先生方が内容や講師をいろいろとよく選んでくださっているということがよく分かる。

所長の言わるとおり、学校の先生方、特に小規模校の先生は出張の間、子どもたちをどうしようかと思いつながら研修に出られた上で、「やっぱり聞いてよかった」と

いう思いで高評価をされたのだと思う。私が学校に勤めていたときも、あくまで研修を聞いた先生は「すごく良かった」と言われるので、学校に戻ってほかの先生にも広めてほしいといつも言っていたが、皆さんなかなか忙しくてできないようである。本当に代表として聞きにこられて、当然校長もそういうつもりで送り出していると思うから、少しでもいいので学校に帰ってほかの先生に広めていただくようお願いしたい。今までもされているとは思いますが、そういうふうにとんどん広げていってもらいたい。

- ・今のご意見と同じ点かもしれないが、この9月の時点で27講座はもう終了しており、あとまだ残っている講座を見させていただくと、今後、特別講座ではSTEAM関係の講座がかなり入っている。例えば加西STEAM教育の研修講師で小泉志信さんは、現役の教師と民間とでコラボしてされている方だと思うが、そういう方がわざわざ東京から泉小学校に来てくださる。また、吉田さんというSTEAMのサポーターズのところでは情報活用のデジタル化なんかをされている方だと思うが、その方が富田小で研修される。

もちろん実際に学校に行かれて研修を聞いた先生方が、持ち帰って伝達をするというのも一つの良い方法である。今はリモートで参加するというのもあるが、先生方は皆さんなかなかその時間帯もお忙しくされているだろう。それで、もし講師の方が承諾されれば、録画はできないだろうか。もちろん駄目と言われる方もいらっしゃる。ただ、こんなに良い講師さんと呼ばれており、その時間は見られないけれども別の時間なら見られるという先生方もいるので、それも一つの方法ではないかと思うが、どうだろうか。難しいのか。

(回答) まず、委員のご意見には全く同感であり、参加された先生には資料を持ち帰って広めてほしいとずっと働きかけてきた。また、いろいろな講師に録画を承諾いただけるよう頼んできたが、録画については皆さん承諾いただくのが難しい。同時配信は承諾していただきやすい。例えば小泉さんは同時配信に了承いただいております、録画については現在交渉中で、もしかしたら承諾していただけるかもしれない。先ほどのコミスクについて文科省CSマイスターの方も、録画は駄目だと言われた。だから、ほとんどの講師さんが録画を承諾されない状況がある。

- ・駄目元と言ったら変かもしれないが、せつかくの機会なのでこういうのもいかがかとプッシュしていただきたい。またよろしくお願ひしたい。

(回答) 同じ思いの為、ほぼ毎回依頼するようにしている。

- ・教育長の意見：皆さんの意見を聞いて思ったのだが、STEAMラボができて、その教室へ行けばすぐ同時に見られるので、手が空いている先生も見られるようになる

のではないかと。そういうふうにとんどもやっけていければいいと思う。

(回答) それも手配しているが、先生方は皆さん子どもがいて授業があるので、手が空いていて同時に見るのはほぼ不可能という現実がある。

・でも、もしかしたら校長先生とかは暇かもしれない。

(回答) 校長先生等、可能なときは積極的に見ておられる方がいらっしゃる。

・そのように見られる人も中にはいるので、同時中継というのもいいと思う。せっかくいい講師が来られているので、少しでも多くの先生方に聞いていただきたい。

(回答) 例えば小泉さんなどは新しい形態の授業で、我々も正直言えばチャレンジだと思っている。いろいろな反響がある授業かもしれないが、我々はあくまでも提案授業として新しい授業をどんどん提案し、みんなで考えてもらえたらと思っている。日程は少し離れているが、3日間通ってもらい1単元の授業を分けてしていただく予定である。

・小泉さんは社団法人を立ち上げられた方か。一般の公務員の方には少し考えられないようなところもある方で、研修を見られたら面白いのではないかと考えた。

(回答) 基本は公立校の教員で、そういう団体の研究をされている方である。

(教育長の回答) 確かに研修を見せていただきたい。事務局には前向きに願います。

・直接は関係ないが、この前テレビを見ていたら、たまたま ABC テレビで STEAM 教育の特集をしていた。やはり小中学校ではなく、兵庫県で言えば加古川東高等学校が紹介されていたが、結構マスコミや文科省、経済産業省も STEAM 教育に注目して、もともとアメリカのオバマ大統領が提唱した STEM 教育から始まっていることなども含め、とても分かりやすく解説してくれていた。生き方に関する課題を見つけて探究する中で、その先にはとにかく周りの人を幸せにするのだという思いでいろいろな研究をしていく、課題解決に取り組んでいくということで、とても良い教育という評価で宣伝していた。録画は忘れてしまったが、少し時間があるので私が見たことをまた提供させてもらえたらと思っている。

(教育長の回答) ぜひお願いしたい。

・これだけ幅広い分野の中からたくさんの講師を選んでいただいているので、本当に先生方の環境はすごくいいと思い、感謝している。講師の中に一般企業の方もちらほら入っている。子どもたちの一生をつかさどる先生方なので、もちろんこういう大学の先生や校長先生が講師になるのもすごくいいことだとは思いますが、一般企業の方や一般人の講演なども視野に入れて増やしていただけたらと思う。また違

った意味で先生方の視野が広がるのではないかと思う。どうだろうか。

(回答) そういう講座を実施してみて、教職員からも「大変勉強になった」とか、「視野が広がった」「刺激を受けた」というような感想が出ている。今回では、講師の三枝大地さんが学校経営について研修をされたが、リーダーとしての経営や人材育成などいろいろなことは学校外のほうが進んでいることもあり、学びとして大変貴重なものになると考えているため、これからも項目をよく考えながら取り入れていきたい。

- ・先生方が一生懸命勉強されているのは分かるが、やはり視野の狭い社会にいると思うので、もっといろいろな意味で視野を広げていただくために一般人を講師にした研修を入れていくべきだと思う。そうすれば、先生方は柔軟性などが得られるのではないかと思う。

もう一つお聞きしたいのだが、このほかに新任教職員の研修があるが、どんなものなのか少しお聞きしたい。

(学校教育課長の回答) これらは総合教育センターの実施した研修講座であり、先生方は県費負担教職員となるので、新任教員研修は県のシステムの中で行われている。1年目は20日前後とかなりの日数があり、それから2、3年目まで県は縛りをかけて研修を組んでいる。そうした研修を組み、これらの研修とは別に行っている。

- ・例えばどのような研修がされるのか。

(回答) 授業研究ということで、現場で即授業ができるような研修があり、県立教育研修所が実際に指導主事、つまり担任のような担当をきちんと組んでくれるというような授業がある。また、中学校の教員は加西市で採用されると、例えば技術の先生は新任でも独りでぼつんと授業をしなければならない。そこで、県下の技術教員ばかりを集めた専門的な新任の研修を組んだり、また今の研修のジャンルで言えば、特別支援や体験活動など授業実践に特化したような授業法である。ただ、今委員が言われたような幅広い一般教養のような部分は少ない。あと、加西の子どもたちがトライやる・ウィークに行くように、教職員も夏休みの2日間社会体験研修を行う。さらに、兵庫県は独特なので、防災教育の研修なども含めたメニューを持っている。

- ・一般企業では会社とは関係なく、人間性をつくるために自衛隊に行ったりとか、接客のため百貨店に行ったりする。そういうのは行われていないのか。

(回答) 先ほども申し上げたように、夏休みに社会体験研修に行かせていただいている。今年であれば、市内のパン屋さんや飲食店に行ったり、市外の図書館に行ったりと、個人でいろいろな場所を見つけてきて2日間研修することになっている。

図書館長

スマート図書館ネットワーク事業の進捗状況について報告する。

システム導入に係るハードウェア及びソフトウェアの購入については、9月議会にて議決いただければ、11月末までに契約の相手方より物品を納品いただく。その後、システム納入業者によるシステム設定作業を実施し、2月末までに図書館システム、学校図書館システム、電子図書館システムの三つのシステム機器を設置する。

学校図書館及び総合教育センター蔵書の電算化については、加西市立小中学校等図書室電算に係る工程表を参照。各学校及び総合教育センターを三つのグループに分け、10月から2月下旬にかけて実施する。1施設に2か所の作業期間を表示しているが、前半の期間で、本へのバーコードの貼付作業及び本のデータ登録作業を実施する。そのデータを一旦委託先会社に持ち帰り、請求記号の背ラベルを作成する。その後、後半の期間に本の背ラベルを貼付する。電子図書については10月中に発注業者を選定し、購入タイトルを検討し来年2月中旬頃までに選定を終えたいと考えている。併せて郷土資料のデータ化を進め、同じく2月中旬頃までに行いたい。

その後、3月1日から、図書館システム及び電子図書館システムの運用を開始する予定。学校図書システムのみ年度末ということなので、3月中は試験運用期間とし、来年度4月より本格運用を開始する予定。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和4年第10回定例教育委員会 10月24日（月）14:00～4F入札室大
- ・令和4年第11回定例教育委員会 11月16日（水）14:00～5F大会議室

1 4 その他

- ・保育園送迎バスの子どもの閉じ込めは昨年もあったが、今年もまた繰り返されてしまった。加西市ではバスは私立園ばかりで公立園にはないと思うが、そういったことで市役所のほうから立会いや聞き取りなどはされているのか。

(回答) 加西市ではバスの利用は3園ある。その3園について現場に1回目の聞き取りをしている。緊急点検については、県から実地検査について年内に指示が来るので予定しておくようにということなので、今後はその指示に従って指導なりをしていきたいと考えている。現在のところ3園とも健全な状態であり、運転手は外部委

託されており、添乗員は園の一人の先生が乗ることになっている。欠席の子どものところは回らないので、当日朝に欠席確認をした上で出発し、バスを降りるときには点呼して担任に引き渡すという手順にしている。各園手順どおり実施しているということで、一旦は確認している。

- ・マニュアルは作られているのか。

(回答) 2園はバスのマニュアルとして作っている。残りの1園はバスのマニュアルとして別に作ってはいないが、園のマニュアルの中に含まれている。

- ・今後、点検は半年ないし1年など定期的にされるのか。

(回答) 毎年何らかの状況確認をすることが恐らく国の指導になってくると思う。もしそれがなくても、教育委員会として自主的にやっていかなければならないと思う。

(回答) 付け加えて申し訳ないが、加西特別支援学校のスクールバスについても、少し調べたところなので報告させていただきたい。

今は園について言われたが、加西特別支援学校においては、欠席連絡は事前の7時半に入ってくるので、その際に乗るかどうかの確認を確実にして、乗車する介助員と運転手に伝える。乗車時には介助員に乗車確認をさせている。特に降車のときには、ご存じの特色であると思うが、担任が個別に担当の児童生徒を教室に連れていく。まず、その時点でしっかりと手を握って連れて行くことで出席の確認ができるため、バスの中に取り残されるということを防ぐことができる。併せて、校長または教頭がバス降り口で確実に控えており、バスの降り口のステップから落ちないよう安全確認を含めて、管理職も降車確認をする。最後に、介助員が最終チェックをして全員がバスから降りたかを毎回確実に見るようにしている。その際にコロナの時期なので消毒も行っている状況である。

今回の事故を受け市教委からは以下の2点について指示を行った。まず一つ目に、もともと降車時に管理職がいるということだったが、必ず名簿を持って確実にチェックしてもらうようにした。もう1点はマニュアル化をしてほしいということで、学校には学校ルールブックというものがあり、そこにスクールバス運行に関する手順を確実に明記してほしいということだ。学校ルールブックは全職員に渡しており、例えば4月に転任してきてすぐの教員であっても、そのマニュアルを見れば手順どおりにできるので、そのようにして共通認識を持っていただくようにした。今は園についてであるが、実は議会でその辺りの報告をしようかと思っていたところだったので、この場で報告させていただいた。

- ・特別支援学校のスクールバスも新しくなったし、本当に何も言えない子どもたちがほとんどなので、丁寧に対応していただいていることに感謝したい。よろしくお願

いする。

- ・この前体育祭に行ったが、子どもの写真を撮られている方がいらっしやった。児童生徒には、そうした写真を SNS に載せないようにと言っている。私が見ていると保護者の中では大分 SNS に載せる人は減ってきているが、どうも来賓の方でそうされることが多いように見受けられる。

来賓の方でも心得ていらっしやる方は多いかとは思いますが、小学校の運動会も始まるので、一応念のために校長先生や教頭先生のほうから来賓の方に SNS への掲載はご遠慮いただくよう言っていただけないかと思う。私も取りあえずよく見ているのだが、保護者の運動会の掲載も昔に比べて大分減っている。やはり少し気になったのは来賓の方が載せていることである。アップにしたら顔が写っているとか、ひどいと名前まで写っており、「これはダメなのではないか」というようなものもあった。ぜひそれを言っていたらよかったらと思った。

もう一つは教育委員会のホームページについて。私が間違っていたら申し訳ないのだが、加西市のホームページを開けるとまず担当課が出てきて、教育総務課など課をクリックしてから、次にこれをクリックするなどしなければならない。

できればそういった PR、例えば給食のアンケートなどは、教育委員会のホームページを開けて即ぱっと見つけれられるように載せてもらえれば、多分保護者はもっと見てくれるのではないか。今のレイアウトだと保護者はあまり見ていないと思う。私も未来の学校構想検討委員会が出て来なくて、どこにあるのか探さなければならなかった。だから、大事な委員会やこういった給食のアンケートなど、これは絶対に保護者や関係者に言っておかなければならないということは、ホームページ上でぱっと出てくるようにしたほうがいい。

(回答) 教育委員会のトップページ上の頭に新着情報を載せている。そして、今であれば例えば STEAM 教育のバナー、その下に未来の学校構想検討委員会のバナー、その下には教育長のブログ、さらに下に食育のインスタがある。

特に教育委員会のトップページの画面がなかなか出にくいということもあると思うが、加西市のトップページの下に、教育や子育てというボタンがある。その教育のボタンをクリックしていただくと、教育委員会のトップページに一発で飛ぶことができる。教育委員会のトップページからは、教育委員会が今トピックスで挙げているものについては一発でご覧いただけるようになっている。食育に関しては左横に食育のページへのリンクがある。給食のアンケートについてはこれからの予定だが、その食育のページに載せようと思っており、教育委員会トップページの新着情報に上がるようになるかと思う。ぜひとも加西市のトップページから教育のボタンをクリックして見ていただくようお願いしたいと思う。

- ・ホームページにいろいろ載せるのは大変だとは思いますが、こういうことは保護者のほうにも周知できればいいのではないかと。そうできれば広がって行って、ホームページを見ていただくことで、もしかすると地産地消の取組への認知度が 50%からもう 10%上がる可能性もなきにしもあらずだと思うからだ。

(回答) 市のホームページの構造がなかなか作りにくい感じなので、少し制約はあると思う。でも、教育委員会のトップページを出していただければ、そこからは見つけやすいようなページにしていきたいと考えている。

- ・体育祭の感想だけご報告する。私は加西中の体育祭に行かせていただいた。加西中だけなのか、ほかの中学も同じなのかは分からないが、まず校長先生の挨拶の前に生徒会長が挨拶し、校長先生の講評の後に生徒会の子が挨拶するというように、生徒たちが中心の行事だということを感じた。当然、学校行事ではあるのだが、子どもたちが中心になってやるという演出と言うと怒られるかもしれないが、子どもたちが中心でやるという意識がとても強かったと思う。

それと、お弁当の時間がない関係で部活行進が途中で挟まり、生徒たちが着替えている間に PTA 会長さんが挨拶をされるのだが、それが終わったら子どもたちは並んでいた。普通は着替えにはもっと時間がかかると思うのだがすごく早くて、本当に私は退屈する間もなく、「もう並んでいるやん」という感じで生徒たちが動いていたことにとても感動した。

あと、閉会式の終わりまで、保護者の誰もテントを立たずに最後まできちんと見届けられていた。「やはりそういう姿勢が子どもたちに反映しているのかな」と校長先生はおっしゃられていた。保護者も褒めてもらうとうれしいものだ。それでまた子どもたちと家で話が弾むのかなとも思う。とてもいい体育祭を見せていただき、感謝を述べたい。

- ・長くなってしまうので、体育祭について簡単に感想だけ述べたい。私も 9 月 11 日に中学校の体育祭に行かせていただいた。台風が来る前ということで学校関係者の方はもとより、私も天候をすごく心配していたが、無事に行えて良かったと本当にほっとしている。私は北条中学校に行かせていただいた。多分父兄の方々のご家族一人という人数制限がついていたと思うが、テントもなく立ち席のみでも皆さん本当に楽しんで子どもさんの応援をされていたし、また生徒の皆さんも元気いっぱい楽しんでおられたことが、本当に印象に残っている。体育祭を見させていただいて本当に感動した。感謝をお伝えしたい。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和4年9月22日

出席者

(出席者署名)